

## エコアップ 通信 NO. 7 【2011年9月号】

### チン、チロリン♪の大合唱につつまれて・・・

8月27日（土）



今回は夕暮れの水辺で活動する生き物の観察会をおこないました。うす暗くなるにつれて、コウモリが虫などを捕まえるために飛び始め、ツバメがアシ原の寝床に帰ってきました。さらに暗くなると、多くの種類の虫がさかんに鳴き始めました。唱歌「虫のこえ」の「チンチロリン」で有名なマツムシの音を初めて生で聞いた参加者は大感激！マツムシは神奈川県では減少している虫の1つです。水辺の草はらの大切さを改めて実感しました。

#### 植物も夜はお休み？

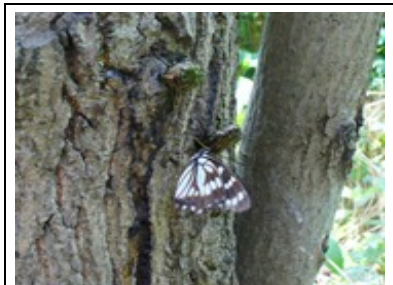
水辺の楽校の“綱引きの王者”クズ（そのワケはエコアップ通信 NO.5で）。夜、その葉を観察すると垂れ下がってしまい、お休みしているかのようです。この動きは“睡眠運動”と呼ばれ、葉のつけね部分の細胞内の圧力が変わること



起こるそうです。クローバーによく似たカタバミの葉でも観察することができますよ。

#### 樹液の集まる虫たち

水辺の楽校にはオニグルミの木がたくさんあります。その幹からしみ出す樹液は、細菌によってアルコールに変化し、その匂いに虫が引きつけられます。このような場所は“樹液酒場”と呼ばれます。昼間にはシロテンハナムグリやゴマダラチョウ



ウ、夜になるとガの仲間やカブトムシが見られるなど、種類が異なるのもおもしろいですね。

#### お知らせ

※今後の活動予定：10月16日（日）、11月5日（土）、12月18日（日）

参加できる方は、事前に平塚市役所みどり公園・水辺課までご連絡ください。

TEL：0463-23-1111(内線2621)